

戀に瘦せる

帝キネ芦屋現代映畫

原作者 笹尾 純一 郎氏  
監督者 渡邊 新太郎氏

撮影者 谷口 禎氏

主要役割

會社員辰巳	瀬川 銀湖氏
妻一枝	柳 美津子嬢
娘君	金澤 紫香氏
會社員松本	森 かね子嬢
タイピスト 文子	市川 久米次氏
子の母お市	小島 洋々氏
A會社々長奥村	伊川 貞子嬢
夫人	淺野 節氏
B會社々長大崎	

解説——「生ける愛人」について渡邊新太郎氏が監督製作した現代正喜劇である。

略筋——給のサラリーマン辰巳は毎日、會社に勤務し妻 枝もB會社の受付として大に家計を助けてゐるが辰巳は會社のタイピスト文子と好い仲となつてから家庭に風波が絶えなかつた。かくて社長の信任を失し、誠實の愛日を見たが或日社長が美枝を連れて仲來で夫人にやりこめられてゐるのを發見し早速奇智か以てその場を圓満に解決し再び復社することが出来たが、子供と妻を追い出して文子を家へ入れんとし、辰巳の二階を借りてゐる同會社員の松本の忠告と奇智、彼は前非を悔ひ彼の家庭も春風が訪づれたのである。